

みしのたくかにと

【発行】
富士宮市教育委員会
社会教育課
☎ 0544-22-1186

「絵本とわらべうたの会」2024年度⑤

日時 9月24日(火) 10:00~11:00
場所 西公民館 1階 集会室

就園前の子どもとお母さんを対象にわらべうたで楽しいひとときを過ごします。赤ちゃんもお母さんのうた声と一緒にゆっくり身体をゆすられて楽しめます。絵本の読み聞かせもあります。

必要な方は敷物やバスタオルをご用意ください。

「大人のためのおはなし会」2024年度②

日時 10月4日(金) 13:30~15:30
場所 西公民館 集会室

小学校や中学校で子どもたちに語っているおはなしを大人の方にも楽しんでいただきたいと思い、お話を開きます。肉声で語られる世界各国の昔話や創作の物語をゆったりとお楽しみください。

市民読書サポーターのいる日程 9月

市立中央 図書館 (10~12時)	7日(土)	14日(土)
	21日(土)	28日(土)
西公民館	24日(火)	10:30~11:30

時間がたっても古びないもの

7/24~8/7までの2週間、中央図書館で藪内正幸原画展を開催し、多くの方に動物画家藪内正幸氏の原画をみていただきました。8/3には藪内氏の絵本の読み聞かせ会を行いました。今では購入できない昔の絵本も図書館の蔵書にあったおかげで『きょうりゅうのかいかた』『くまげら』『なにがいのかな?』などを読むことができました。絵本に夢中で見入る子や、絵本を指さしながら次に出てくる動物を予想する親子もいて、楽しい時間を過ごしました。「藪内さんの科学絵本を目で読むことはあったけれど、読み聞かせをしてもらったのは初めてで、ゆったりしたよい時間でした」という感想もありました。



藪内氏の絵本は描かれてから50年たった今も古さを感じさせません。動物の毛並みの一本一本、足の内側の腱の筋、写真より見やすい鳥の羽の色合い、そして生態の観察も見事で、自然の不思議と驚きを感じさせてくれます。現在品切れとなっている絵本があることはとても残念ですが、これからも藪内正幸氏の絵本を読み継いでいきたいと思います。

(市民読書サポーター 渡辺みどり)

絵本の紹介 —ピーターラビットシリーズ—



あひるのジマイマのおはなし

ビアトリクス・ポター さく・え
いしいももこ 訳
福音館書店

あひるのジマイマは、森へ行って卵を産む場所を探していると、しゃれた服を着たキツネの紳士に出会う。紳士はジマイマを鳥の羽根でいっぱい自分のたぎ小屋へ案内し、ジマイマはその小屋で卵を産む。紳士が「卵を抱く前にふたりでパーティを開こう」というので、ジマイマは紳士に頼まれたとおり、玉ねぎやハーブをせっせと集める。それがあひるの丸焼きに使う材料とも気づかずに…。



ひげのサムエルのおはなし

ビアトリクス・ポター さく・え
いしいももこ 訳
福音館書店

いたずらな子猫のトムは煙突の内側を登っていき、屋根裏の隙間に迷い込んでしまう。そこに住んでいた大きな年寄りネズミのサムエルとおかみさんがトムを捕まえて紐できっちりしばりあげてしまった。ネズミの夫婦は台所から、練り粉とバターと麵棒を盗んできて猫巻き団子を作って食べようとする。トムのお母さんが家中トムを探しまわっていると、屋根裏から何かぺたぺた転がすような音が聞こえてきた…。

裏面もご覧ください